

第5章 実現化方策

1 都市づくりの推進に向けた取組

阿久根市都市計画マスタープランの将来都市像『安全で潤いとやすらぎにあふれたまち あくね』の実現に向けて、以下の方針に基づき、都市計画マスタープランによる都市づくりに取り組みます。

(1) 協働による都市づくり

都市計画マスタープランが掲げる都市将来像の実現のためには、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、都市づくりの目標や課題を共有し、適切な役割分担のもと互いに協力・連携した、協働による都市づくりを進めることが重要です。

市 民

- コミュニティ等の地域活動への参加と課題解決に向けた取組への参加
- まちづくりに関するルールの遵守
- 地域のまちづくりへの参画
- 各種計画への意見やアイデアの提供
- 都市計画に対する提案

協働による都市づくり

事業者等

- 事業活動を通じた地域経済の活性化への貢献・協力
- 専門的な知識や技術の提供
- まちづくり活動への参加協力
- 地域のニーズに応える研究・技術開発・人材育成

行 政

- 都市づくり計画の立案と調整
- 都市づくりに関する情報収集と研究、情報提供
- 都市づくりに関する支援制度の検討・人材育成の推進
- 地域のまちづくり活動の支援と活用
- 国や県などの関係機関への要望、調整

(2) 連携による都市づくり

市民ニーズが多様化し、生活圏が拡大している中で、今後、広域的な視点・連携による都市づくりがますます重要になってきます。

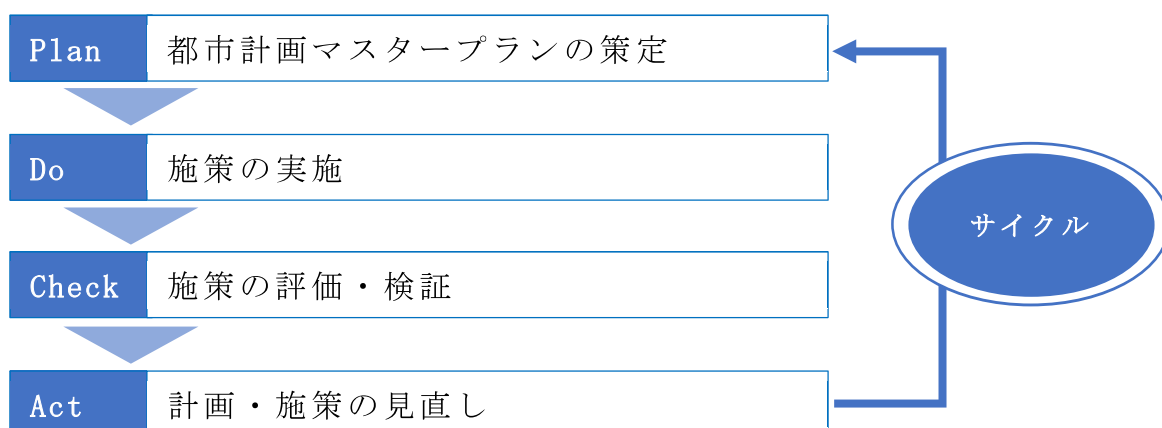
国や県、周辺都市が進める関連計画との連携や十分な情報収集を行い、広域的な連携による都市づくりを推進します。

2 都市計画マスタープランの評価と見直し

(1) 進行管理の仕組み

本計画に基づく都市づくりが適正かつ計画的に行われるよう、計画の継続的な進行管理が必要です。社会情勢の変化を把握し、都市計画基礎調査や各種統計調査、市民アンケート調査等により、都市づくりの進行状況を確認・評価します。

進行管理に当たっては、計画、実行、評価、改善といった「PDCA サイクル」の仕組みを活用します。



(2) 計画の見直し

都市計画マスタープランは、長期的な見通しを持って継続的に取り組むものであるため、その間には、経済・社会状況の変化や地域の状況の変化、上位計画の見直しが行われる可能性があります。そのため、社会情勢の変化を踏まえ、本計画の方針や各種施策の妥当性を判断するとともに、上位計画との整合を図りながら、必要に応じて計画の見直しを行います。